

ビーズ小物作り

コドモファンドの新しい活動として、ビーズの小物作りが始まりました。これは、バンコク在住ボランティアの講師の方から教えていただき、始まりました。

この活動は、家庭状況に問題がある子ども達に少しでも、収入の機会を得てもらい、職業訓練になればと考えています。ジュン地区の「ヌーディの家」、バンマイ役場で活動を行っています。



フン(14歳・中2・奨学生)、ポーン(12歳・小6)
真剣にビーズ作りに取り組む様子。



携帯電話のストラップやキホルダーとして使えるビーズのサンダル

ビーズでサンダルを作ることは、子どもたちはとても好きなようです。低学年の子どもにもゆっくり教えれば、ちゃんと作ることができます。これからはいろいろなデザインを子ども達が話し合っ
て考えていきます。

始まったばかりの活動なので、まず市場を探さなければいけません。パヤオ市内でも、販売しようと考えています。

左の写真のジャーは、祖母と2人暮らし。家では口数もあまり多くありません。子どもファンドの活動に笑顔で参加しています。祖母は高齢なため、あまり働くことができません。彼女は、家庭が経済的に厳しい状況にあるため、ビーズで小物を作り家計を助けたいと考えています。

このような状況の子ども達に、どんどん活動の場を広げたいと考えています。



ジャー(12歳、小6、奨学生)：「家でもつくりたいな。」